

e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2015

十勝の秋。

日暮れが急に早くなりました。5時になったらもう暗闇が訪れてきます。今年は季節が1ヵ月早いと感じます。道路のナナカマドの並木が黄色に染め始め、落ち葉が道路を舞っています。ナナカマドは赤い実を付けるのですが今年は、その実を全く付けない樹が出現。夏の異常な干ばつの影響でしょうか。先日関東に行ってきましたが、驚いたことにイチヨウの木が黄ばみ、道路に銀杏が落ちていました。本州の紅葉は、遅れ遅れして11月ぐらいになっていましたが、今年は2ヵ月早いんですね。朝の気温も厳しく下がり、今週は5℃ぐらいまで下がる予報。日中は20℃近く上がるので、寒暖の差が大きく、体調崩しの一因です。遠く大雪山系の山並みに初冠雪の報、十勝を囲む日高山脈の降雪も間もなくでしょう。

農作業も収穫の秋で大忙し。ニンジン、トウモロコシからジャガイモへ収穫物は移り変わりトラクター、ハーベスター、ファームダンプが十勝の大地を駆け巡っています。これに併せ、各町村では、収穫フェアが盛んに行われ、農家の収穫したイモやカボチャや玉ねぎを販売しています。住宅街の動物も活発に動き回っています。エゾリスが松の木の上に行ったり下に行ったり、クマガラ(キツツキ)の親子がそこいらを飛び回っています。



活動のお知らせ

- 9月12日(金)・13(土) 酪農学園大学 畜産学会 日本産肉研究会主体事業講演
テーマ「日本畜産への問題提起と赤身牛肉生産の可能性」/これでいいのか、日本の畜産
TPP締結前夜 北海道肉牛の残された道/直近のデータ分析からシュミレーション
- 9月24日(木)・25日(金) 現地調査・検討会 雄武町 JAおうむおよび周辺農家
- 近日中に、ご案内を出します。ぜひご参加ください
- 11月6日(金) 10:00 第5回 北海道肉専用種枝肉共助会 北海道畜産公社(帯広)
- 13:15 第20回 北海道肉牛研究大会&環境リサイクル肉牛協議会シンポジウム
新得町 道総研 畜産試験場 テーマ「北海道型肉牛生産の課題と展望」



NEWSばか読み

- 改正農協法が成立 所得増はJAの責任 8/29:政府思惑通りに事が進む
- 7月消費支出0.2%減 食品値上げ重荷 高齢者の節約続く
8/29:節約しないと
- ブラジル景気 2期連続で後退 8/29:BRICSに不安説あり
- クボタ 全国でIT農業展開開始 8/30:企業の農業参入加速
- 海洋のマイクロプラスチック汚染広がる
8/30:回避さけ食べれなくなるかも
- 鶏卵相場高騰特にLサイズ 夏バテ 9/1:こっちもバテバテ
- 置戸町 農地所有最大の法人設立 法人大型の兆し 9/1:農家人が企業人
- 道総研 オリジナル乳酸菌で純産チーズ研究 9/1:菌の世界は深いぞ
- グリーンコープ 米卸商と連携し飼料米の広域流通 9/2:これも6次化
- 8月の主要子牛市場 去勢初の70万円超え 9/2:誰にしわ寄せ
- 宮崎県畜試 簡易皮下脂肪測定器を開発 繁殖牛太りすぎをチェック
9/2:自分も
- 全国肉牛事業協同組合 和牛枝肉共助会に安福久の血統登録外に
9/3:生産者がカギ
- 脱脂粉乳高騰で子牛哺乳コスト高に9/4:生産コストがすべて高 後々重荷に
- 食品大手 今期営業利益の半分を海外で稼ぐ
9/5:その分国内価格安くして
- はこだて和牛 飼料米給与の試験開始 9/5:新幹線までに間に合うか
- マックやっと浮上 8月既存店売り上げ1.8ヵ月ぶりに増
9/5:底を脱したか
- 農水省・経産省 電気柵の啓発ポスター作製 9/7:感電する前に
- 牛丼各社そろって増収 原料下落・チョコ飲み効果
9/8:吉野家で飲みすぎないでね
- 米輸出増加 海外レストラン向けやくボタほか参入効果 9/8:おいしいコメを

- 穀物輸出市場 世界通貨安で米国の競争力低下
9/8:TPP強制力駆使しないで
- 興部ノースブレインファーム デントコーン有機栽培開始 9/9:努力を応援
- サラダコスモ 大豆イソフラボンでモヤシの機能性表 9/11:機能性開発を
- 日本ホルスタイン共助会(ホル全共)2020は九州ブロックで 9/15:
- 日中韩農相会議 家畜伝染病封じ込めで情報交換
9/15:政治に縛られないで
- EU酪農家デモ ロシア禁輸・中国経済低迷で低乳価長期化
9/15:グローバル経済
- 伊藤ハム米久と経営統合 ハムソー国内首位 9/15:縮小経済反映
- 食品大手メーカー 高機能性ペットフード増産
9/17:人間同様か以上(異常)
- 年間訪日客 中国からの急増で昨年超し 9/17:外国人に東京は占拠された
- 下川町 公共施設の6割が木質バイオ発電 9/18:エネも地域自給自足
- 貿易統計8月集計 5,700億円の5ヵ月連続赤字 9/18:自給自足のススメ
- 安保护法
9/20:いつも考えること…アメリカ好きな安倍さんに子供がいないこと
- 総務省 80歳以上1,000万人超し 9/21:わあまだ遊んでいられない
- 農水省 米育ち畜産物のブランド化 9/21:補助金はまだ切らないで
- コメ 転作や災害で需給引き締まる
9/22:新米不足でパニックにならないよう
- 木材自給 27年ぶりに3割台回復 9/22:えっそうだったの
- 道酪農検定協会 経産牛が5年前より9%減
9/23:北海道自体も生産減に実態
- マイナンバー制 来月中旬から使用開始 9/23:人間トレサビ開始
- 都内焼肉店 お祝いの日にも新メニュー登場「肉ケーキ」女性に人気
9/24:食べたい
- 10-12月配合飼料価格据え置き 9/25:コストは上限
- フォンテラ 前期決算 原料下落で大幅に増加 9/25:仕組み分からず

東京直近NEWS (9/28 Shi-REPORT)

ホルス 枝相場は上げ下げを繰り返すし、相場は若干の下落。しかしながら引き続き枝肉高値の状況に変化には変わらず。ホルス枝相場@1100下での商売。販売状況は9月の連休も天候に恵まれ、量販店は今一つ。季節から気温も下がり焼き材からスライス材にシフトするも切落し、赤身ともに引合いは低調。度重なる値上げから、末端は輸入ものにシフト傾向しており国産牛としての値ごろ感と利益も確保できずアイテム変更的。牛から輸入のチルドポークへ棚替えなど行う店舗もあるとの情報から牛肉離れに警戒したい。近々の販売動向でも、荷動きは非常に鈍いとの情報で大手メーカーは在庫過多から相当量チルド、冷凍含めて投げ価格での販売情報あり。年末に向けて唯一カタロース、ロースの引き合いがあるものの依然赤身、バラの引き合いが弱くパーツ偏りが強く、販売苦戦。

経産牛 9月も連休の影響と、台風18号の影響の大雨で関東は産地、と畜加工場含め水害被害発生。枝相場は若干の下げ傾向を示すが、高値傾向には変わらず。C1等級のガリ枝でも@700は割らない。販売は、頭数の慢性的不足から加工筋では原料確保が難しく国産原料使用の製品カットを行い、輸入原料での製造にシフト。肥育もの同様に再三の値上げから末端も挽材・パーツの値上げ疲れの状態。国産全て高値により、輸入ものの動向に不安あるも価格は国産よりメリットあるためシフトの情報。但し、絶対頭数の不足から各地域より問合せあるも産地側も余剰アイテムは無いため、新規販売は難しい状況。挽き材も販売低迷と輸入にシフト感あるため、流通販売単価はここにきて下げ傾向。

左先生の畜産学研究NEWS

9月18日の朝刊の安保法案参院委の与党強行採決の写真を見て或る言葉を思い出しました。「山高きが故に貴からず、樹があるを以て貴しとなす。人肥たるが故に貴からず智を以て貴しとなす。」これは平安末期の教訓書;実語教からとのことです。衆参合わせて審議時間は216時間におよび戦後最長の8ヶ月とか、雨の中国会周辺に集まった国民は「再考の府」たる参院を騎馬戦場の如くにするを野党に頼んではおらず、真つ当な議論と政権交代の出来る説得力を国民は期待していました。今年は戦後70年でもあり、安保法制の内容に特に関心が高まったと思いますが、6月の衆院で3人の憲法学者全てが「安保法案は違憲だ」との指摘にもかかわらず可決し、9条が益々空文化する中で国民は新たな危機にどう備えるのか本質的議論を期待していたのです。e-びーふNews22号の学術情報は「日畜会報86:3」の内容からです。その他は紙面の都合で次回に回します。

1. 2015.8. 肥育去勢牛における胆嚢内胆汁量および胆汁酸組成 (蓮沼俊哉 他 富山県畜研)

牛胆嚢の胆汁生薬材料の有効性を検証する目的で黒毛和種、乳用種およびそのF1肥育去勢牛における正常肝の胆嚢内胆汁について分析を行いました。その結果、胆汁量は黒毛和種が多くの2品種よりも少なく、枝肉重量や出荷日齢との関連性はみられず、胆汁酸組成は熊胆の主成分で知られるウリゲン・オキシコル酸などは含量比が小さく種間差より個体差が大きいく

とが示され、生薬原料としての胆汁は育成期の前歴などを含めて腸内細菌叢などの吟味が必要と思われました。

2. 2015.8. 交雑種一産取り肥育牛および交雑種未経産牛のローストビーフにおける消費者型官能評価 (阿佐玲奈 他 帯畜大)

黒毛和種と乳用種の交雑種♀10頭に黒毛和種の受精卵移植して一産取り肥育を10ヶ月間平均35ヶ月齢まで行い、受胎しなかった牛を交雑種未経産として32ヶ月齢まで肥育し、これら2者の肉質や枝肉の大きさの近い個体のロース芯からのローストビーフについて「香り」「柔らかさ」「ジューシーさ」および「好ましさ」の官能評価を行いました。その結果、わが国では評価の低い経産肥育牛でも交雑種一産取り肥育牛の肉質評価は上記4項目とも消費者からは高いことが明らかになり、雌牛に第一子を分娩させた後の肥育が子牛生産・生産効率の向上に繋がる可能性が示唆されました。

3. 2015.8交雑種一産取り肥育牛における超音波画像を用いた皮下脂肪の経時的な推移(武藤美鈴 他 帯畜大)

交雑種一産取り肥育牛の事例課題となっている余剰脂肪解明のため、26頭の交雑種一産取り牛で10ヶ月間の肥育中2ヶ月毎に超音波診断を行ってどの時期の皮下脂肪蓄積が枝肉格付け皮下脂肪量に関わるかをミラー型牛枝肉撮影装置で検討しました。その結果、肥育開始2ヶ月で両者間に有意な決定係数が得られその後次第に係数は上昇しました。

道総研 畜産試験場NEWS

グラスサイレージによる黒毛和種去勢牛の育成肥育Ⅲ④

畜産試験場肉牛グループ 遠藤哲代

方法

供試牛: 黒毛和種去勢牛 18頭 (4~5月齢, 130kg)

試験処理: 育成前期 (4~5月齢) のTMR構成

	対照区	高CP区	低糖飼料区
粗濃比	50:50	50:50	40:60
CP含量	16%	18%	16%

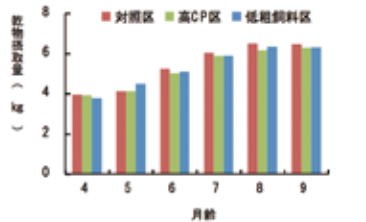
育成中・後期 (6~9月齢) は2処理とも対照区のTMR構成

測定項目: 飼料摂取量、体重、体尺値、血液性状

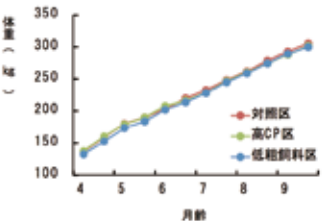
TMRの飼料構成および成分組成

	対照区	高CP区	低糖飼料区
2番草GS	50.0	50.0	40.0
配合飼料	25.0	24.0	30.0
圧べんコーン	20.8	16.6	13.0
大豆粕	4.2	9.4	-
フスマ	-	-	17.0
DM (%)	34.9	33.6	40.1
CP (%)	15.8	17.5	15.8
NDF (%)	50.1	49.1	49.7
TDN (%)	69.8	69.6	69.6

乾物摂取量の推移



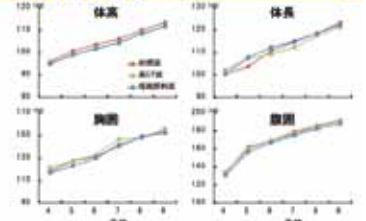
体重の推移



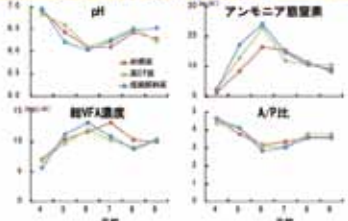
日増体量 (kg)

	対照区	高CP区	低糖飼料区
前期 (4~5月齢)	1.22	1.28	1.26
中期 (6~7月齢)	1.07	0.95	1.03
後期 (8~9月齢)	0.94	0.87	0.91
全期	1.08	1.04	1.07

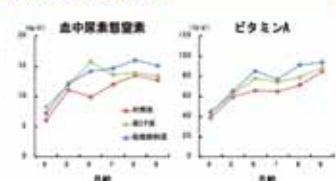
体尺値の推移



ルーメン内容液性状の推移



血液性状の推移

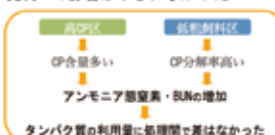


1頭当たり飼料費の試算

	単価 (円/kg)	摂取量 (kg)	金額 (円)
2番草GS	10	2,035	20,347
育成配	66	272	17,968
圧べんコーン	55	229	12,609
大豆粕	91	43	3,913
合計		2,579	54,836

まとめ

- 2番草GSを給与しても肥育に問題無い
- 前期のCP含量または粗濃比の違いによる肥育への影響はみられなかった



今後の展開

- 育成から肥育までサイレージを一貫給与



- 繁殖雌牛へ牧草サイレージ給与

